

# 手法が異なる各社の世論調査



令和2年  
9月19日(金)

発行者  
D A P P I



第148号



## 菅内閣発足後の報道各社の内閣支持率

|         | NHK     | 朝日新聞    | 毎日新聞  | 読売新聞    | 日本経済新聞  | 共同通信    |
|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|
| 支持する    | 62%     | 65%     | 64%   | 74%     | 74%     | 66.40%  |
| 支持しない   | 13%     | 13%     | 27%   | 14%     | 17%     | 16.20%  |
| その他・無回答 | 25%     | 22%     | 9%    | 12%     | 9%      | 17.40%  |
| 調査日     | 9/21～22 | 9/16～17 | 1%    | 9/19～20 | 9/16～17 | 9/16～17 |
| 有効回答数   | 1270件   | 1266件   | 1025件 | 1075件   | 1007件   | 1003件   |
| 質問者     | 調査員     | 調査員     | 自動音声  | 調査員     | 調査員     | 調査員     |
| 重ね聞き    | 不明      | なし      | なし    | あり（※1）  | あり（※2）  | なし      |

※1：読売は1回目の質問で曖昧な回答者に「どちらかといえば、支持しますか、支持しませんか」と1回だけ重ね聞き

※2：日経は1回目の回答で支持か不支持か不明確だった場合にはお気持ちに近いのはどちらですか」と二度聞き

1回目の質問で“支持・不支持”を答えなかった人に再質問する読売・日経の支持率は、再質問をしない朝日・毎日・共同よりも約10%高い支持率を記録。

機会音声で調査を行ってる毎日新聞では支持しないが他者と比べ10%以上高く記録。世論調査には“弱い支持”や“弱い不支持”を引出す調査とそうでない調査があると認識を

## 報道回想録

## 注目のインターネット情報

### 読売新聞（2020年9月20日～23日） 安倍前総理 7年8ヵ月を振り返る



安倍前総理は辞任を決断した理由である体調について『新しい薬が効いているのでもう大丈夫』と答えつつも『体力がある中で政治空白を生まないように8月の終わりに辞職する判断をあえてした』と改めて辞任理由を語った。  
また7年8ヵ月について『後世に「安倍政権の時は良かった」と生活実感として言ってもらえれば、一番うれしい』と振り返った。

一方で野党に関しては『野党にとって衆院選挙は政権を奪う最大チャンスなのに解散批判する野党の気持ちがわからなかった』や『先の国会では憲法審査会は1回だけで『議員は何をやってる』と批判されても仕方ない。野

党は『安倍政権の間は議論しない』と言ってたが今は菅政権。子供じみた言い訳は通用しない』と苦言を呈しつつ、『私の答弁スタイルは反論すべきところは強く反論・反撃する。そのほうが本質的な議論となり、課題がわかりやすくなる。政策を戦わせることが政治家の使命ではないか』と政策論争を避けたきた野党に政策論争をすべきと呼びかけた。

また安倍前総理の悲願であった拉致問題解決については『拉致問題解決に全力が私の使命と思ってきた。様々な手段をとり、安倍政権の取組みで問題は国際的認知されたが残念ながら帰国実現できていないのは痛恨の極み。菅首相も全力で取組んでくれると思う』と官房長官として安倍前総理を支えてきた菅総理に拉致解決の想いを託された。

### 立憲 共産党に媚びて内ゲバ

Dappi  
@dappi2019

連合「合流新党は共産党と距離を」  
↓  
立憲「首班指名で枝野を!」  
共産党「野党連合政権の意思表示で枝野氏に投じる」  
枝野幸男「大変光栄! しっかり連携を」  
↓  
連「連合は共産を含む野党共闘に与しない」

支持母体よりも共産党の立憲。  
その結果、設立直後なのにもう内ゲバ

神津連合が「共産党排除」宣言! 解散・総選挙に備え「6産別」再合流の布石  
「連合は共産党を含む野党共闘には与(くみ)しない」――。連合は9月17日の中央執行委員会でも正式決定した...

facta.co.jp

2020年9月18日